

読んでなっとく! **横浜の歴史** vol.42  
文: 横浜開港資料館 調査研究員 齊藤 司

**吉田新田⑨**  
—吉田新田の「完成」—

吉田新田に関する先駆的な業績である石野瑛『横浜旧吉田新田の研究』(1936年刊行)によれば、吉田新田の「完成」は寛文7年(1667)と記されている。残念ながら、大正12年(1923)関東大震災による吉田家文書の焼失のため、それを直接裏付ける資料は残されていないが、石野氏は大震災以前より吉田家文書の調査を行っており、典拠となる何らかの資料が存在したと思われる。

それでは吉田新田の「完成」とは具体的にどのような事柄を指しているのでしょうか。寛文6年(1666)正月30日に「太田之郷中村」の新兵衛と喜平次から吉田勘兵衛へ出された「預り申新田之田地小作手形之事」という証文には「新田かうや之年数過ぎ候」という一節がある。「かうや」は荒野・荒地の意味であり、「かうや」である年数が過ぎて年貢を幕府へ上納するようになって、小作料を吉田勘兵衛へ納入し、その中から吉田勘兵衛が幕府へ年貢を納入するという内容が記されている。

つまり、寛文6年正月段階においては、少なくとも吉田新田の一部は「かうや」の状況であり、耕作はされているものの、幕府(具体的には担当の代官)からの年貢の賦課は無かったことになる。新田の生産力が年貢を賦課するだけの水準に達していなかったためであろう。

新田の開発にあたっては、耕作する農民

の生産意欲を促して新たに造成された田畑の生産力を上昇させるため、開発の開始以降、一定の期間にわたり年貢を賦課しない「鎌下年季」という時期が設けられることが一般的であった。おそらく「かうや」とはこの「鎌下年季」の期間に該当しよう。

寛文8年(1668)以降の耕作証文には上記のような「かうや」文言がみられない(寛文7年の耕作証文は残存していない)。したがって、同6年~8年の間に「かうや」の年限が過ぎたことになる。寛文2年(1662)に耕作が始められた吉田新田の耕地は、同年より寛文6年(1666)までの5年間、「鎌下年季」期間であったことになる。

寛文7年における吉田新田の「完成」とは、こうした「かうや」=「鎌下年季」の期間が終了し、幕府により吉田新田への年貢賦課が始まることであり、その前提として誰がその耕地を所有し年貢を負担するのかという所有権の確定が行われたことを意味している。

なお、開発資金の提供者や耕作を請け負った人物の中には、こうした「鎌下年季」の時期において、短期間における利益を目指した人々も存在していたのであろう。

**吉田新田・吉田勘兵衛年表(2)**

万治2(1659)年	吉田新田第2回目の工事開始
寛文2(1662)年	吉田新田(この段階の名称は「野毛新田」)における耕作開始
寛文2(1662)年 寛文6(1666)年	五年間にわたる「鎌下年季」(年貢免除の時期)か
寛文7(1667)年	吉田新田の「完成」。前提として土地所有者の確定が実施されたと推定される。

**2018 イギリス絶景ウォーク**  
英国コッツウォルズツアー  
“世界一美しい村”を歩く旅

イギリス中央部に広がる丘陵地帯コッツウォルズは、“世界で一番美しい村”の異名を持つ。石造りのはちみつ色の町並み、野花が咲き乱れる草原…まるで絵本から抜け出したような世界がそこには広がっている。

コッツウォルズを案内して10数回というベテラン添乗員の小林義昭さんは、「ガイドブックにも載っていない“本当”のコッツウォルズへご案内します」と自信をもって話している。

**憧れのコッツウォルズ&湖水地方8日間**  
●実施日 2018年6月27日(水)~7月4日(水)  
●旅行代金 396,000円(税別)  
※成田発着、別途空港使用料、空港税、燃料サーチャージ  
●最少催行人数 12人(定員25人)

**旅行説明会** 参加費 1月25日(木) 13:00~14:30  
無料 2月17日(土) 10:45~12:15  
※両日とも同じ内容です。要予約。資料のみも受付中。  
【会場】市民フロア(そごう横浜店9F)・ミーティングルーム  
横浜市西区高島2-18-1 横浜新都市ビル9F(横浜駅東口徒歩5分)  
お申込み ☎0466(50)5088  
(株)湘南よみうり新聞社(9:00~18:00/土・日・祝日休)

**のあしなめ 旅行舎**  
スローライフな旅  
コッツウォルズの大地を自分の足で歩きました♪  
●旅行企画・実施 (株)日本旅行 藤沢支店 観光庁長官登録旅行業第2号  
●問合せ・資料請求 ☎0466(22)7411  
2016年の参加者 武政節子さん



▲ブロードウェイタワーをバックに小林さんのガイドで散策

▲麦畑の中を歩くのはあしなめ流ならではの!!

**今月のどーぶつ Vol.13** ラインスタンプショップで **LINE スタンプ販売中!!**  
そのフォルムはまるでイラストで描いたマスコットキャラクターの様。ぽってりとした見た目からペットとしてとても人気で、比較的飼いやすいと言われているカエルです。  
分布:アルゼンチン、ウルグアイ、ブラジル(リオグランデ・ド・スル州)  
▲QRにアクセス

ソーシャル・コミュニティ・スペース **ソコス SOCOS**  
申込み方法 TEL 0466(50)5088 FAX 0466(50)5077  
メール socos.yokohama@gmail.com  
SOCOSはNPO法人 湘南の学校が運営する地域コミュニティ活性化事業です

小田原まち歩きツアーvol.40  
**新年を迎え家内安全を願って「般若心経の写経」と小田原駅前老舗そば店「寿庵」にて、名物宿場そばの昼食も**  
450年前に創建された曹洞宗の古刹「潮音寺」で、家内安全、病氣平癒など一年の満願成就を願い、般若心経の写経をしませんか。昼食は老舗そば店の寿庵。小田原が9つ目の宿場だったことから、9種類のそばが楽しめる宿場そばをいただきます。ほかに、みや吉兵衛商店や江嶋など小田原の老舗商店にも立ち寄り、お買い物を楽しみます。  
日程 1月18日(木)10時 定員 20名(最少催行人員8名) 持ち物 筆ペン  
集合場所 JR小田原駅改札口出たところ 小田原提灯の下あたり 案内 NPO法人小田原まちづくり応援団  
参加費 5,000円(写経代、昼食代、ツアー代金) ※別途JR小田原~足柄間、往復交通費260円  
※前・当日のキャンセルは、全額キャンセル料を承ります

先月号のおさらい **絵手紙の描き方講座** **絵手紙で新年のご挨拶**

**大切な人に 想いを込めて 年賀状を描こう!**

絵心がない、文字も下手…と、最初から絵手紙を描くのを諦めていませんか。しかし、そんな方にこそチャレンジしてもらいたいのが絵手紙。等身大の絵と言葉で、今年こそ絵手紙で年賀状を描いてみよう。

**準備するもの**  
●筆(線書き用・採色用)  
●顔彩 ●液体墨  
●パレット ●半紙  
●画仙紙はがき  
●墨皿 ●筆洗い(プリンカップでもよい)

**絵手紙の3つの基本**

- ヘタでいい、ヘタがいい  
絵手紙を描くのに、絵心や文才は必要ない。上手に描こうと思わずに、伝えたいメッセージを素直な気持ちで描くことが大切。
- 下書きをしない  
絵手紙は、鉛筆などで下書きをしたり練習してから描かない。ぶっつけ本番で描く。心の赴くまま…。だから絵手紙に失敗はない。
- まずは練習!  
絵手紙は、人の描いたものを手本にしたり、真似て描くことはしない。目の前にあるモチーフの見たままを描く。

**まずは練習!筆の持ち方・線の引き方**

- ①筆は上のほうを軽く持って、筆先はまっすぐ下をむけて描く。
  - ②筆先の穂先だけを半紙におろす。筆先は半紙についたかつかないくらいが良い。
  - ③縦の線を何本か引いてみる。上から下へ。下から上へ。横の線も同じように描いたら、次は螺旋を描いてみる。太さ、強さなるべく同じになるように練習しよう。  
※墨は墨液に水を足して、好みの濃淡で
- さあ、実際に絵を描いてみよう**
- ①初めて描くときは、旬の野菜や果物が描きやすい。手に取って感触を確かめたり、じっくり観察してみよう。年賀状を描くこの時期なら、来年の干支の戌の小物や、お正月のグッズなどをモチーフに。
  - ②目にとまった部分から、墨筆で輪郭を描く。モチーフの全体をはがきの中に収め



- ずい、はみ出すくらいに大きく描く。
  - ③色を塗るときは、リズムカルにたたくように元気よく。はみ出したり、塗っていない部分があっても味が出る。濃い色は最後にはがきに置くようにそとにじませて。
- 次に、言葉を書いてみよう**  
飾らない自分の言葉で。文字は活字のように読みやすい文字を心がける。
- さらにカッコよく!印(落款)を押そう**  
紅い印は全体をぐっと引き締める。消しゴムにつまようじで簡単に彫って作ろう。



**第5回湘南絵手紙作品展募集要項**

**絵手紙 大募集** 応募作品は全て展示!

応募締切 **2018.1.15** 当日消印有効

テーマ「好きなことば」  
応募資格 どなたでも(1人3枚まで)  
応募締切 2018年1月15日(月)(当日消印有効)  
規格 はがき大(用紙・画材自由、手書き、写真、パソコン、切り絵、貼り絵、形式自由)  
応募方法 はがき表面左下、作品ごとに〒、住所、氏名(ふりがな)、年齢、TELを記入して、下記まで郵送。学校、団体での応募は、ご担当者の方のご連絡先を必ずご記入ください。  
発表 「湘南よみうり」2月号紙面、HPIにて。心に響いた作品の中から今回のテーマ賞として「好きなことば賞」をはじめ、作品賞約10点を発表。作品発表の場としては、(株)湘南よみうり新聞社壁面ギャラリーで展示する予定。  
賞品 賞状と副賞・湘南よみうり新聞社特製記念品、協賛各社より賞品の提供を予定。  
※応募作品の著作権は主催者に帰属します  
※未発表の自作品に限り  
※応募作品の返却には応じかねます  
カラーコピーなどをお取りの上、ご応募ください

(株)湘南よみうり新聞社内「湘南絵手紙作品展」実行委員会  
〒251-0052 藤沢市藤沢496 藤沢森ビル1F  
TEL.0466(50)5088